

はばたき

1980 NO. 10



神戸市立王子動物園

盛夏雑感

ながい湿った洞窟の中を通るような雨天つづきが終り、さわやかな風が木々の葉をそよがせてゆく、久し振りの晴天、六甲の山波に一団の雲が浮び、澄んだ空が、これ程快よいと思われるのも雨のあとなればこそであろう。

アカシア、桜、樟などの木々が繁り、葉陰に鳴き交う動物たちをつつみ、多くの人々をもなごませてくれる、真夏の訪れたこの王子の杜は果てしない道に連らなり遠い空に広がっている。

後 230 日もすれば、ポートピア '81 に待望のパンダがやってくる、来年の今頃は大変なことだ、職員全ての協力なしには素晴らしい動物たちは守れないと思う。彼等は東支那海をこえ、はるばる来日するのであるが馴れぬ土地での世話に、懸命にとり組んでいかなばと今から思う。

パンダの愛敬のある眼元が稚気にあふれ、たくまざる可憐さとユーモアが皆に愛される所以かとも思われる、そのどかな風貌は浮世の煩雑さからしばし解放させてくれる、それだけに無事な滞在を祈らずにはおられない。

私たちは実に勝手なもので、人間の為に彼等の自然と自由を奪い珍らがつてよろこんでいるが、人間社会に近づいては生きることのできない動物たちが沢山いる、パンダは特に公害のない自然な佳境に棲息しているときく、だから折角の彼等の環境を変えることは好ましいことではないし彼等も望んではいないだろう、パンダの求める環境こそ私たち人間の理想郷かもわからない。

来年やってくるあの貴重な動物たちも大切な預り物である、王子動物園の全員が誠意と情熱を集結して環境保全はもとより病気にかからないよう十分な世話をしたいと思う。博覧会の成功は云うに及ばず、パンダが中国に帰り、なお何十年の後まで元気であることを願わねばならない。

ロンロン、サイサイと朋友たちに逢う日を楽しみに待ってしよう。

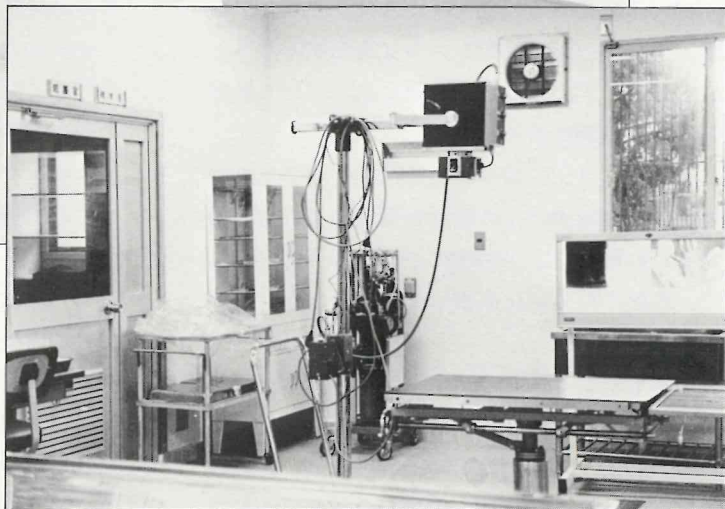
も く じ

■ 盛夏雑感	2
■ 特集 動物病院	3
■ 神戸にパンダがやってくる	5
■ 飼育こぼればなし	6
■ こどもたちの横顔	8
■ 動物育児日記	10
■ 動物なぜなぜ問答	12
■ 動物もの知り手帳	13
■ トピックス	14
■ お知らせコーナー	15

表紙の写真

シベリアトラ
1980. 5. 14 生れ

神戸市立王子動物園 園長 山 神 正



◆念願の動物病院が6月に完成しました

これまででは小さな処置室があったのですが、入院治療が必要な動物達の入院室や、新しく動物園に仲間入りする動物達の健康診断をするための特別な検疫場所が不足していたのです。

新しい病院は健康管理のための必要な設備も十分なものとなりました。

ここ王子動物園にはいったいどれぐらいの動物達が暮しているのでしょうか。哺乳動物は65種260頭、鳥類は110種600羽、は虫類で11種110頭と全部で1000の仲間がいるのです。世界からやって来た自然からの大切なあづかり物の

動物達が健康で長生きしてもらうためには、とうぜん広くて良い環境と十分な栄養のある食べ物があれば良いのですが、どうしても狭い住み家で暮していると病気になる動物達もでて来ます。

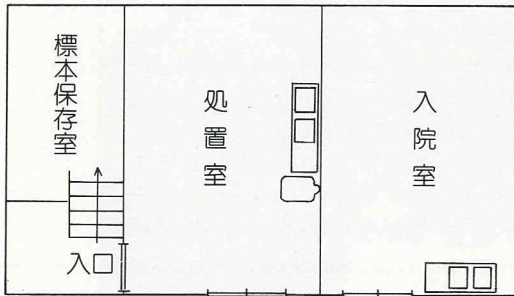
私達は毎日、動物達が傷をしたり、病気にならないよう十分気を付けて世話をしていますが、野生の動物達が病気になると治療も大変むづかしい仕事となって来ます。

このため、新しい動物病院には治療や検査をするうえで必要な機械、器具がそなえられて十分な治療ができるようにしてあります。

それではどのような内容かを説明しましょう。

動物病院平面図

1階 100㎡



④1階には処置室があります。

ここにはレントゲン撮映装置、手術台、ガス麻酔装置、心電計、酸素生器などが設えてあり、急救処置がいつでも出来るようにしてあります。又隣の入院室に入っている動物の治療や健康診断をします。

入院室には主に猿など小動物のためのスクイズケージ（治療のため動物を保定することが出来る入れ物）や、小動物の小舎が置いてあります。鳥類のためには前庭にかく離舎が作ってあるのです。

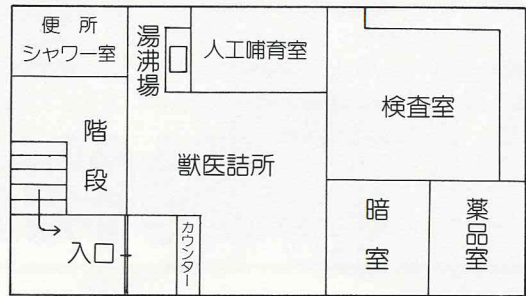
入院室やかく離舎ではもう1つの大切な仕事のためにつかわれます。新らしく仲間入りをする動物達が、人間に感染する伝染病や、動物達にうつる病気を持っては大変です。このため一定期間は検査のために入院してもらい、十分な健康診断を受けて、大丈夫と決まってから始めて皆さんに観てもらおう展示室に行くことが出来るのです。

④2階には検査室、暗室、薬品庫と人工哺育室があります。

検査室では、寄生虫や病原菌の検査、血液検査など一般の病院でやっているのと同じことをしていますが、動物園では特に雄と雌の区別が困難な鳥など、血液を調べて鑑定する仕事もやっています。

人工哺育室は、動物の母親が自分で子供を育てられないことが起きたとき、かわりに人の手

2階 104㎡



でミルクを与えたり、赤ん坊の病院の治療のために特別に温度、湿度が十分管理できるように哺育器が置かれ、良い看護が受けれるようにしてあります。

このように王子動物園の動物家族の健康を守るために立派な病院が完成しましたので、これからも動物達も安心して一生健康で長生きしてくれるよう職員一同頑張っております。

④ここで皆さんにぜひお願いがしたいことがあります。

私達は動物の健康を守るため一生懸命仕事をしていますが、動物達にいたづらをしたり、食べ物を投げ与えないでほしいのです。

これまでに石を投げつけられ死にそうになったワニ、石を腹一パイに飲み込んで死んだあしか、食べすぎてお腹痛を起した猿、画ビヨウや輪ゴムを胃にためて、餌がたべられずに死んだコウノトリ、ビニール袋を食べて死んだカモシカがいます。

治療や手術を受けるのは動物達もいやがりません。どうか皆さんも動物の健康を守るために、いたづらをしている人がいたら注意してください。皆さんで王子の動物家族の健康を守ってゆきましょう。

傷ついた野生の動物達もこの病院で治療を受け、野や山に帰してあげています。動物園の動物達だけでなく、可愛相な野生の動物のことでの相談事がありましたら気楽にお電話して下さい。
(権藤 真禎)

来年パンダが

ポートピア '81

神戸にやってくる



来年3月から9月まで開かれる神戸ポートアイランド博覧会（ポートピア '81）に、中国の天津市から「ロンロン」と「サイサイ」の2頭のパンダがやって来ます。ではどんなパンダが写真で紹介しましょう。

▶ 「ロンロン」（蓉蓉）

メス、16才、体重95kg、健康で美人、食事の時食器を手で持って食べることができます。



◀ 「サイサイ」（寒寒）

オス、5才、体重88kg、若くて元気で、よく遊びます。はしごのような鉄の台に登ることが大好きです。

（谷岡 正之）

飼育こぼればなし

◆ 神ちゃんがくれたバナナ

去る日神戸新聞イイミミ欄に“神ちゃんがくれたバナナ”と題してこんな投書がありました。

「先日老人手帳を頂きバスも入園料も無料になった私、久しぶりにチンパンジーの神ちゃんに会いに行っただです。すると私を見つけるなり部屋に走りこんだ神ちゃん、バナナ1本もってきて、それをオリのすき間から私にくれたんです。その神ちゃんの気持がうれしくてうれしくて、早速家に帰って冷蔵庫で冷やして食べました。そのおいしかったこと。うれしかったこと。一生忘れられません。私この年（74才）になるまで人間には負けたことあらへんで泣いたことありませんでした。その私を神ちゃんとうとう泣かしよったんや！神ちゃんありがとう」

又、「チンパンジーやオランウータンとぼくは話ができるみたい！」と、休みには欠かさずお土産持って通ってくる高校生。例によって神ちゃんを見たあと、オランウータンのジュンとネネに会いに行くのがおきまりのコース。するとやさしいネネ、何やら丸いもの手にしてオリの中から差し出してくれるのです。何時行ってもとれよ！と言ってくるんです。ぼく何げなしに手を出したら、落さないよう、ほんとにそーとくれたんです。それが何だったでしょう。なんとまあ、“ウンコ”だったんです。」

若い高校生、いかにもうれしそうに語ってくれたのです。そうなんです。みなさん、動物の心のやさしさ、好意をもったお方にはからだでその気心をぶっつけて示してきます。言葉がなくなつてというよりも言葉がないからこそ、彼等はその言葉のかわりに何かで意志表示してくるのです。好意に対しては好意のお返しをする。



それが、背をすりよせてくるネコ、じゃれついてくるイヌ、類人猿となると、バナナだったりウンコだったり、それはすばらしい動物からの言葉ではないでしょうか。

しかし、その逆もあるんです。いやなヤツ！いたずらされたこと決して忘れない。投げつけられた石に対し、投げ返すことを覚え、バナナやリンゴの皮、いやウンコを片手にビューと投げつけてくることもあるのです。

こうした彼等の行動の奥にひめられた心の内はどんなことを思い求めているのでしょうか。たつた1度のよろこびを下さった人を決して忘れない彼等、何時もオリの中から、何時も人間との触れあいを求めているのです。月に1度はやってくるおじいさんの話からも、若い高校生の言葉からも、それがにじみあふれているではありませんか。私たち人間も動物たちもみんな同じ地球の仲間。そんな思いがフッフッ湧いてきます。みなさん、どうか動物園がそうした心の“ふれあい”の場であってほしいと、飼育係の私たちは願っているのです。（亀井 一成）

◆ 黒葉猿



和名：黒葉猿（くろはざる）

中国名：黒叶猴（ヘイエホウ）

英名：フランソア・ルトン学名 *Presbytis francoisi*

昭和 55 年 5 月 6 日、友好都市天津市より親善動物として黒葉猿（雄 5 才、雌 4 才）が王子動物園へ贈られ、5 月 8 日に贈呈式を開催し、一般に公開されました。黒葉猿は広西省山地に生息し、熱帯及び亜熱帯地方の 1 年を通じて温度、湿度の変化の少い所に住んでいます。

生理的にみて他の地域での環境になじみ難く、飼育下では多くの病気にかかり易く、非常に弱くて臆病で、飼育が難しく、国内では当園を含めて 3 園で飼育されているだけです。特徴としては尾が体と同等に長く、顔は耳から口にかけてひげの様に白い毛が生えており、手と足の親指が極端に短かく、背中にはマントを着ているような毛が生えていて、頭は毛が真中で立ち上ってピリケン頭のようになっています。特に木の高い所が好きで、殆んど地上には降りて来ない為、当園では室内 24 m²、高さ 4 m、運動場 28 m²、高さ 6 m の獣舎を作り、運動場には生木（アカシヤ）を止り木に使用し、室内も高い止り木を設置しています。

飼料としては木の葉が主食ですが、当園では 1 日 1 頭当り、人参 60 g、リンゴ 50 g、ミカン

30 g、パン 20 g、ナス 50 g、バナナ 30 g、他にひまわりの種、落花生を少々、以上を 1 日 3 回～4 回に分けて 1 個ずつ手にとって与えます。木の葉としては柳・ねずみもち・桜・にれ・アカシヤの葉を少量ずつ与えています。この少量ずつ与える理由は、1 度に多量与えると、胃壁がのびてうすくなり、消化不良の原因となるからです。中国でも死亡原因の大半が消化不良という事です。最初は獣舎になじむのに相当期間がかかるものと覚悟していたが、案外早く馴れて、現在では餌を持って行くと声を出してそばに寄って来るようになり、時にはズボンのポケットにまで手を突込み落花生を取ろうとします。初めて黒葉猿を飼育して判った事は他の猿と比較してゆっくりと餌を食べ、特に雄より、雌の方が時間をかけて食べ、食事中は常に周囲に注意をはらっており、室内にいる時は何時も 2 頭が寄りそっている事です。動物園では 15℃～20℃で飼育するよう努めなければならないので、冬期には室内の暖房として赤外ランプと電気ストーブを設置しています。

早く繁殖に成功するよう努力しますが、非常に弱い動物ですから、絶対に食べ物を与えないよう御願います。 (岡本 正勝)

こどもたちの横顔

今年も、春のベビーブームにたくさんのベビーが誕生しました。

そのこどもたちの、かわいい表情を紹介します。

ラマの
ベビー誕生
2月11日生れ



ピューマの
ベビー誕生
2月19日生れ

(撮影：福田元二)

とからうまの
ベビー誕生
4月9日生れ



だちょうの
ベビー誕生
5月2日生れ



動物育児日記



タンチョウツル2羽誕生

王子動物園のタンチョウは、昨年・一昨年と各一羽づつしか繁殖しませんでした。今年も珍らしく2羽の孵化に成功しました。4月18日と21日にそれぞれ1個づつ卵を生み、両親が交替で抱卵し、32日目には孵化しました。ヒナは全体が茶色の綿毛におおわれ、体重は約200g、体高は約15cm、早成性で、孵化後10時間もすると、親から好物のドジョウ、ミミズ等をもらい親の後について餌をねだります。

親鳥のヒナに対する可愛がりようは大変なもので、舎内に入ると飼育担当者にも攻撃的で、気が強くなり、オス親も育すうに専念します。

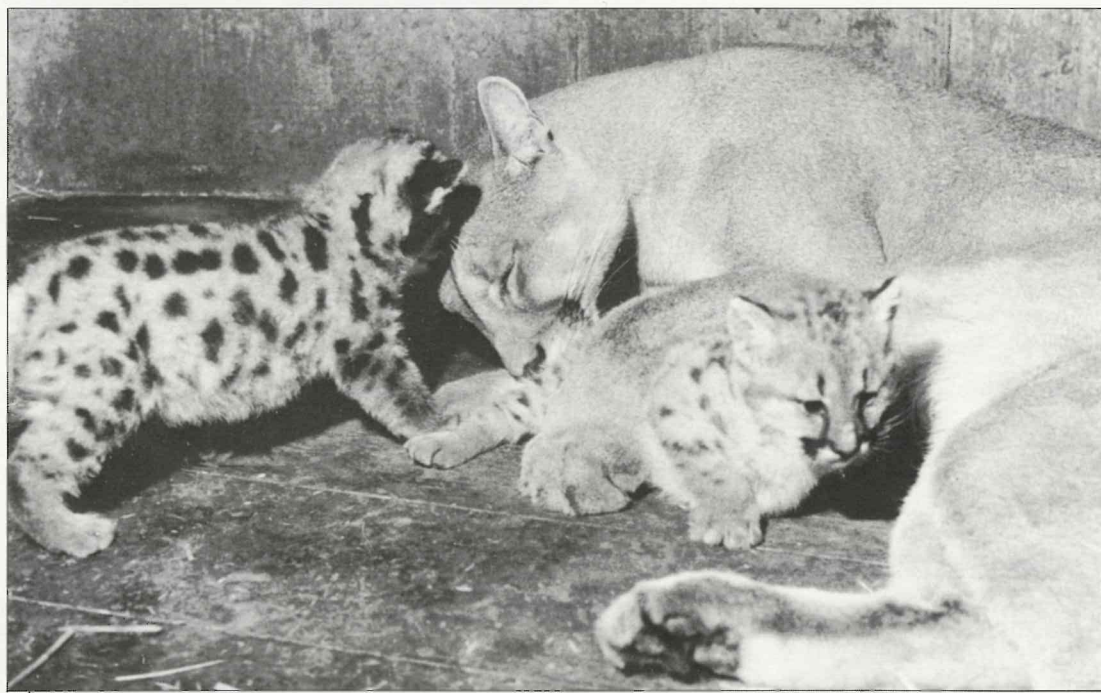
餌の大きなアジ等は小さく嘴で砕いて与え、ヒナが地面に落した餌をプールできれいに洗って与えることもあります。ある時舎内に住みついたねずみがヒナの方向に動き出すと、すばやくオス親が攻撃して食べてしまったこともあります。そして雨の日等はヒナを翼の下に入れて休み、雨が上がるとヒナが両翼の間からキョト

ンと顔を出して周囲を見渡し、その姿を見ているとほほえましさを感じます。さてタンチョウは野生では2羽孵化しても、ほとんど1羽しか成育しないといわれています。落ちほれビナといって強いヒナが弱いヒナをいじめて死亡させるそうです。これも自然の掟で、種の中の強いものだけが残って子孫をふやすのです。こうした事が動物園のツル舎の中でおきたのです。

孵化後25日目の朝、ヒナの姿が見えず、驚いて舎内に入ると体の小さいヒナが顔面血に染まって倒れていました。直ちに獣医さんに連絡し、動物病院に入院させ、治療し、人工飼育することになりました。ヒナは次第に回復しつつあっても、栄養状態が悪く、生まれた時に親鳥の顔を覚えたヒナは、小さい体で給餌時に私達に嘴でつつき廻り、ならずのが大変です。そして6月25日、看病の努力も実らず死亡しました。このタンチョウも4ヵ月後には翼が生え揃い、10ヵ月後には親鳥と同じ大きさに成長するところだったのですが、非常に残念な結果に終わってしまいました。(鈴木 忠)

ピューマの赤ちゃん誕生

ピューマの赤ちゃんが、2月19日に3頭誕生しました。(オス1、メス2頭)大きさは、体重約500g、体長約24cm、尾長約12cm、目は開いてなく(約1週間で開く)バフ色の地に黒い斑点がたくさんあり(この斑点は約6カ月ぐらいでなくなるようです。)生まれてから50日ぐらいで



餌を食べ始め、お母さんだけで子供を大きくします。

これまでに5回出産(全部3頭生まれました)しましたが、お母さんが、大変上手に子供を育てたので、今度も安心してまかせておいたのです。ところが寒い時でしたので、生まれて6時間後にメスの赤ちゃん1頭が、体が冷えて元気がなくなったのです。すぐに動物病院に入院しましたが、1日で元気になり、お母さんに返してやることになりました。肉食獣やうさぎの仲間には、人がさわったり、においがつくと子供を食べしまうことがあるので心配しましたが、お母さんは嫌うこともなく、ほかの赤ちゃ

んと同じように世話をしました。しかし人間のお母さんのように赤ちゃんの口に乳を入れてのませてくれません。動物は赤ちゃんが、自分の力でお母さんの乳を吸うのです。ほかの赤ちゃんは乳を吸っているのに、1日だけでも人が乳を飲ませたこの赤ちゃんは、近くに行くだけで、乳の出るところがわからないのです。30分後にやっと乳を探しあてて吸い出しました。乳を吸

い出した時の私達の気持、何と云うか、言葉では言い表わせません。動物を飼育していなければわからないでしょうね。1度吸う事を覚えてしまうと、あとは簡単です。少し小さくならず弱々しかったこの赤ちゃんピューマも、お母さんの乳をたくさん飲み、ほかの仲間と、じゃれあい、遊びだしてからは、ずいぶんと大きくなり、たくましくなって、今は仲間の中に入っても見おとりがしなくなりました。もう5カ月、体重も8kgにもなり、餌(馬肉500g、鶏肝50g、鶏頭80g)もたくさん食べ、身体の斑点もうすくなりだし、もう大変な「やんちゃ」盛りです。(田伏 与志明)

動物なぜなぜ問答

問1 「カモノハシはなぜほ乳類なのか？」

(答) カモノハシは単孔目、カモノハシ科で1属1種の小さな科に属する動物で、くちばしを持ち、足には水かきがあり、卵を生む動物となると、誰しも鳥類と考えるが、カモノハシはこれらを兼ねそなえた下等な哺乳類です。

くちばしはカモに似ており、前足は水かきがあってワニに似ており、尾はビーバーに似ており、骨の構造は爬虫類に似ており、オーストラリアの四不像というところ です。



このカモノハシは8月～10月に交尾をし、地下道を掘ってその奥に巣を作り、交尾後2週間で直径約1,6 cmの卵を2個生み、10日間卵を抱卵すると、体長約2,5 cmの子が卵殻を破って出て来ます。子は数日間何も食わずにいますが、母親の腹部の小さな穴から汗のようににじみ出てくる乳を母親の毛をなめるようにしてしゃぶります。つまり乳を飲んで育つ動物ですから哺乳類なのです。4ヵ月もすると体長が30 cmにもなり、親から餌の取り方を習います。

食べ物は昆虫の幼虫、ミミズ、ザリガニ、小エビ、小魚などで、冬期に数日間だけ冬眠することもあるそうです。(橋本 昭一)

問2 「猿類にも指紋があるのでしょうか？」

(答) 人間の手足には万人不同不変といわれる指紋があることご存知のとおりですが、お尋ねのように猿類の手足にも指紋があるのでしょうか。

からだを包む皮膚は一番外がわに表皮があって、その下に真皮がありますが、ここには神経も血管もありますので、“けが”をすると血が出ます。しかし、一番外皮のうすい表皮には神経も血管もほとんどおっていませんので、痛くもなく血も出ないのです。

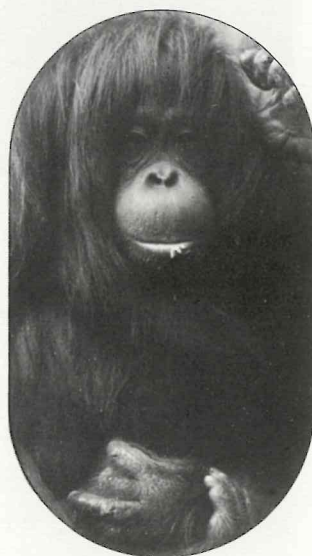
ところで、この表皮と真皮とが重っている部分に乳頭という小さな“でこぼこ”があるのです。指紋はこの乳頭の“でこぼこ”が表皮にできたものですが、指にあるから指紋とよびます。しかし、このようなすじは手足のひらなど毛の生えていない皮膚にもあるのです。

またこうした指紋は生まれたときからあって、いくら成長しても形は全く変ることがないし、同じ形の指紋もないのです。

さて、このような皮膚のでき方が人間も猿類もほとんど変りませんので、調べて見ますと、やはり、同じように指紋や手足のひらのすじがあることが分ります。

霊長類 230種つまり、ツパイから・キツネザル・ロリスザル・メガネザル・オマキザル・オナガザル。そしてヒト類に至るその全ての猿類には複雑さはかなりちがいますが、人間と同じように指紋はあるのです。

(亀井 一成)



動物もの知り手帳

— なんでも知っちゃお! —

アライグマ Raccoon

数年前、子供の人気マンガ“アライグマ ラスカル”がテレビで放映されていました。そのころ動物園に遠足に来た幼稚園児からレッサーパンダ舎の前で、“おいでー、今日もラスカル、僕のひざえー”と大合唱が始まったものです。

レッサーパンダもアライグマ科に分類されていたので、まったく子供達がまちがっているとは云えません。色ちがいの輪文様のある尾や、たれ目の顔など特徴が良く以ていますね。

王子動物園に来たことのある人は、小獣舎に2つのアライグマの展示室があることに気づかれることでしょう。

アライグマは南北アメリカ大陸に住んでいますが、北アメリカ産のものは7種32亜種に分類されています。王子動物園に居るのはこのうち1番広く分布しているものです。学名 (*Procyon Lotor*)。この他北アメリカの島々や、メキシコに住んでいる5つの亜種が知られています。

カニクイアライグマ、学名 (*Procyon Cancrivorus*)。

もう1つのものは見較らべるとすぐわかるのですが、カニクイアライグマが居ます。北アメリカのもの比べると毛色がねずみ色で、毛足が短かく、ほっそりとした感じです。

これは南アメリカ大陸のコスタリカ、パナマ、北アルゼンチン、ブラジルにかけて住んでいるもので、5つの亜種に分類されています。

野生のアライグマは集団で生活せず、1匹で気ままに暮しています。結婚シーズンだけ雄と雌が数日間一緒に暮すだけで、雄は続々と新しい雌をさがして旅をします。

北米産アライグマは1月～3月がこのシーズンで、出産は4月～6月にかけて1～9匹の子供が生まれます。

カニクイアライグマは、7月～9月がシーズンで、10月～12月にかけて2～4匹の子供を生みます。

子育ては雌だけでほぼ1年近く子供達のめんどうをみますが、子供達は独立して生活し、雌は1年すぎると一人前の母親となる資格が出来るのです。雄は2年で成人となります。

当園のアライグマは、貨物船で北アメリカから神戸に密航して来た雄ですが、ずっと一人暮らしでした。近々年下のおむこさんに向えることが出来ることとなりました。

仲の良いところを見に来て下さいね!

(権藤 真禎)



トピックス

◆天津市から贈られた2組のカップル<5月8日>

前号でお知らせした、天津市から新しい動物の贈呈式が行なわれました。

やって来たのは、クロハザル（オナガザルの仲間で、全身が黒いサル）とシロカケイ（キジの仲間で、全身が白い羽根でおおわれている）で、いずれも中国産のめずらしい動物です。

はやくも、ちびっこたちの人気の的で、2世の誕生を期待したいものです。

ちなみに、天津市からの動物贈呈は2度目で、前回は、タンチョウとオオヤマネコでした。



◆"どうぶつのこどもたち" 写真展開催<5月1日~7日>



ゴールデンウィークでにぎわう、さんちかインフォメーションギャラリーで、王子動物園で生まれたどうぶつのこどもたちを集めた、写真展が行なわれました。

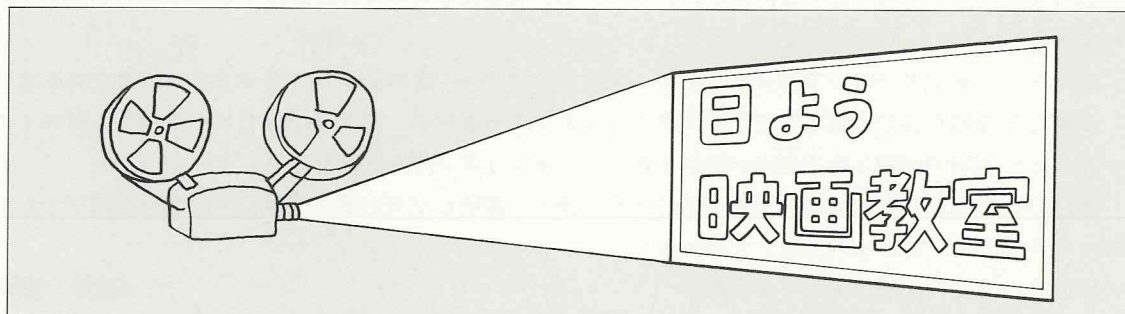
とかく、かわいいというだけでおわりそうな写真展ですが、今回は、「こどもが、なぜかわいいのか?」・「こどもの時に必要な、学習」などの解説パネルも、あわせて展示しました。なお、同会場で上映した16ミリフィルムもたいへん人気を集めました。

◆大入満員・動物園日曜映画教室<3・4・5月の毎週日曜日>

親子づれの多い春の王子動物園で、動物の映画を見ていただく、日曜映画教室が開催されました。

上映映画は、王子動物園の四季を撮った映画、それにNHKのフィルムライブラリーの中から、野生動物の生態を写した映画など、毎回趣向を凝らした映画を上映しました。

毎回満席という好評ぶりで、入場をお断りするのにうれしい悲鳴の連続でした。



お知らせコーナー

☒学名ラベルが新しくなりました。

新しい学名ラベルは、裏表紙に写真で掲載していますが、新しい表示内容として、動物の分類、学名、生息地域の色別表示など、見やすく表示し、また、取付方法も各獣舎にそれぞれ取付台を設置し、動物舎の網へ直接付ける方法は、極力避けました。

また、雑居ケージの識別ラベルも一部新しくなり、今年中には、すべて新しくする予定です。



人事異動

動物園を去られた方々

田井 建さん (前 管 理 係 長)
岡田俊二さん (前 庶 務 担 当)
志保田進さん (前動物園協会常務理事)

動物園に来られた方々

西島 実さん (管理係長)
那須一馬さん (庶務担当)
国森良信さん (動物園協会)
岡田俊二さん (動物園協会)

編集後記

はばたき第10号ができました。

このところ、はばたきの編集も順調で、年に2回発行できるようになり、内容も次第に充実してきました。

編集に当られる皆さんの協力の賜物でしょう。

動物園に待望の動物病院ができました。

飼育係の皆さんの日常の飼育観察と協同して、今後、動物たちの健康管理により成績が期待されます。

向暑のおり、皆さんには大変ですが、よりよい動物園づくりに、さらに一層の活躍を祈ります。

(T・M・生)

食肉目・クマ科

ほっきょくぐま

Polar Bear

Thalarctos maritimus

北極圏



新しい学名ラベル

学名ラベルの表示内容についての案内板

学名ラベルのみかた

王子動物園の学名ラベルにはこのような表示をしています。

分類（目・科）

日本語名 日本語はひらがな
外来語はカタカナで表示

英名（英語）

学名（ラテン語）

生息地域

■の部分が生息地域



海のまち 新しい世界——

ポートピア'81

1981年春開催 神戸ポートアイランド博覧会協会

はばたき 第10号 昭和55年7月20日発行

編集：神戸市立王子動物園

発行：神戸王子動物園協会
神戸市灘区王子町3丁目

1部 100円

8072000 (H)